

クロアチア情勢

主な出来事

2015年3月

内政

- 2日、クロアチア民主同盟(HDZ)は、「クロアチアおよびEU:2015-2020年開発政策」と題した経済政策フォーラムをHDZ系シンクタンク(Croatian Statehood Foundation)他共催で開催。同党の経済プラットフォームの一部を紹介。同会合にはグラバル＝キタロビッチ大統領も出席。
- 4日、大統領府において、グラバル＝キタロビッチ大統領およびプシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相が外交政策につき初めての協議を実施。
- 5日、クロアチア政府は、シェンゲン領域に参加するための「評価プロセス開始準備のための宣言」を閣議において採択。
- 8日、法令で定められた期間内に2015年予算を採択できなかったことを理由に議会の解散を決定された9市(ドゥブロブニク、オミシュ、フバル、コルチュラ、パグ、ラブ、ノビ・マロフ、スベティ・イバン・ゼリナ、ズラタル)および8町(ククリツァ、ルグビツァ、ミルナ、ルンバルダ、ペトロバツ、チャグリ、ストラホニェツ、グンディンツィ)で地方選挙を実施。22日には、4市5町で決選投票が実施され、ドゥブロブニク市長にブラフシッチ候補(人民党(HNS)所属)が再選。
- 10日、ザグレブ県裁判所は、汚職・組織犯罪対策本部(USKOK)の提訴に基づき、昨年11月に釈放したバンディッチ・ザグレブ市長(停職処分中)の再逮捕を決定。同日夕刻、バンディッチ市長は取り調べのためレメティネツ刑務所に拘留された。
- 12日、グラバル＝キタロビッチ大統領およびミラノビッチ首相は、国家安全保障会議(VNS)をクロアチア議会内で開催。2015年の「安全保障・諜報機関行動指針」が採択され、また、政府に対し「国家安全保障2015-2024年戦略」の起草が指示された。
- 13日、最高裁は、サボ前ブコバル市長(社会民主党(SDP)所属)に対するオシエク県裁判所の有罪判決を支持。しかし、刑罰については同県裁判所の懲役16か月の判決から、懲役8か月および執行猶予8か月に変更。その後19日、サボ前市長はSDPから離党。
- 14日、退役軍人省前で座り込みの抗議を続けている退役軍人らがミラノビッチ首相自宅に向かってデモ行進を実施。同時に、市民団体「Occupy Croatia」から集まった150人程の人々が、退役軍人省に向かって、座り込みの抗議を行う退役軍人らに対して抗議するデモ行進を実施。
- 18日、バンディッチ・ザグレブ市長率いるザグレブ市議会議員クラブが、ザグレブ市議会における社会自由党(HSL)S)、農民党(HSS)、年金者党(HSU)との連立から離脱する旨発表。
- 18日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、大統領府のチトー旧ユーゴ大統領胸像および肖像画を撤去。右は今後チトーの故郷であるザゴリエ地方の博物館にて保管される。

- 21日, SDP幹部会開催。次回議会選挙に向けた方策等を協議。
- 21日, 「反ファシスト同盟(Antifascist League)」が設立され, ゾラン・プシッチ人権市民委員会会長が会長に就任。名誉会長にユライ・フルゼニャク(法律家), 副会長にベスナ・テルシェリッチ(NGO「ドクメンタ」代表)が就任。ヨシポビッチ前大統領も右設立会合に参加。
- 21日, ルジャ・トマシッチ前アンテ・スタルチェビッチ権利党(HSPAS)党首が, 新党クロアチア保守党(HKS)の党首に就任。
- 25日, ズラタル＝ビオリッチ文化相(HNS所属)が同省経費を不正使用したことにより引責辞任。26日, シプシュ同省次官が後任決定までの間の大臣代行に指名された。
- 26日, バンディッチ・ザグレブ市長(拘留中)は, 復職するまでの同市長代行を, シュバリェク副市長からクシン副市長に変更。
- 27日, シュバリェク・ザグレブ副市長が辞任。
- 28日, バンディッチ・ザグレブ市長(拘留中)が, 新党「ミラン・バンディッチ365－労働・連帯党」を結党し, 党首に就任。
- 31日, クロアチア議会において, クロアチアのNATO加盟6周年記念行事を実施。グラバル＝キタロビッチ大統領, ミラノビッチ首相, プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相らが出席。

外交

- 1日, グラバル＝キタロビッチ大統領は, スロベニアを非公式訪問し, パホル・スロベニア大統領と二国間の懸案事項(海上国境画定仲裁裁判, リュブリャナ銀行外貨預金未返済問題), EU・NATO枠組での協力および南東欧地域協力につき意見交換。
- 1日, プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は, 第28回国連人権理事会出席のためジュネーブを訪問。フセイン国連人権高等弁務官と会談。
- 2日, グルチッチ副首相兼地域開発・EU基金相は, 仏企業運動(MEDEF)主催の仏・クロアチア起業家会議にクロアチア代表団団長として参加するためパリを訪問。同地において, クリソビッチ外務・欧州問題省次官およびデジール仏外務・国際開発大臣付欧州問題担当長官は, 今後3年間の二国間協力の強化に関する合意書(戦略的パートナーシップのためのアクションプラン)に署名。
- 3日, グラバル＝キタロビッチ大統領は, 就任後初めての外遊先としてボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)を公式訪問。イバニッチ大統領評議会議長(セルビア系), イゼトベゴビッチ大統領評議会メンバー(ボシュニャク)およびチョービッチ大統領評議会メンバー(クロアチア系)と会談。また, ベバンダBH首相(クロアチア系)およびBH議会両院議長団とも会談した。
- 3-4日, レコ議会議長がワルシャワを訪問し, シコルスキ・ポーランド下院議長, ボルセヴィチ・ポーランド上院議長らと意見交換。欧州の南北を繋ぐエネルギー供給網および交通網の整備における両国の緊密な協力に関心を示した。
- 4日, アフガニスタンで展開されている「確固たる支援」ミッションに派遣されるクロアチア軍の81名がザグレブを出発。出発式には, グラバル＝キタロビッチ大統領が出席。

- 5日、ロレンツィン観光相は、ベルリンで開催されている観光フェアにおいて、リファイ世界観光機関(UNWTO)事務局長と意見交換。
- 6-7日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、非公式EU外相会合出席のためラトビア・リガを訪問。
- 6-9日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、「国際女性の日」および北京宣言・行動綱領採択20周年記念イベント出席のためニューヨーク国連本部を訪問。潘基文・国連事務総長およびクテサ国連総会議長と会談。9日には、クリントン財団およびゲイツ財団が共催するジェンダー平等に関する国際会議に出席。
- 10日、ロレンツィン観光相は、梁黎明(Liang Liming)中国・浙江省副省長と意見交換。クロアチアと浙江省間での観光強力の拡大可能性につき協議。また、梁副省長は、ハイダシュ＝ドンチッチ海事・運輸・インフラ相とも意見交換し、電子コミュニケーション分野での両者の協力可能性を協議。同日、浙江省代表団は、クロアチアの起業家と共に経済フォーラム開催。
- 11日、グラバル＝キタロビッチ大統領、ミラノビッチ首相、レコ議会議長およびプシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチア訪問中のダチッチ・セルビア第一副首相兼外相とそれぞれ会談。主に紛争中の行方不明者の問題、両国内のマイノリティの地位、セルビアの普遍的な司法管轄権およびドナウ川の国境画定問題について協議された。
- 11日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、当国訪問中のハサノフ・アゼルバイジャン国防相と会談。経済および国防分野での二国間協力の継続につき意見交換。
- 12日、オストイッチ副首相兼内務相は、EU司法・内務協力理事会出席のためブリュッセルを訪問。また、欧州委員会のアヴラモプロス欧州委員(移民、内務、市民権担当)に、クロアチアのシェンゲン領域参加に向けた評価プロセス開始準備のための宣言書(a declaration of readiness to commence Schengen evaluation process)を提出。
- 13日、ザグレブのクロアチア経済会議所(HGK)において、「アドリア・イオニア地域(ギリシャ、スロベニア、伊、クロアチア)開発・協力」に関する国際会議を開催。プレノコビッチ欧州議会議員(クロアチア選出)、ブリロビッチHGK会頭らが出席。
- 16日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、EU外相理事会出席のため、ブリュッセルを訪問。同理事会は、BHの「安定化・連合協定(SAA)」の締結・発効に進むことを合意。
- 17日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、独を公式訪問し、ガウク独大統領およびメルケル独首相と会談。クロアチア・独二国間関係の強化、南東欧地域情勢等が協議された。
- 18日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、当国訪問中のドンチェフ・ブルガリア副首相(EU基金・経済政策担当)と会談。欧州政策としてのエネルギー、運輸および地域の安定に関する二国間協力につき協議。
- 19日、コトロマノビッチ国防相は、当国訪問中のシェモニャク・ポーランド副首相兼国防相と会談。二国間関係、NATO枠組での協力、南東欧および中東情勢につき意見交換。また、シェモニャク国防相は、グラバル＝キタロビッチ大統領、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相とも会談した。

- 19日、クロアチア選出のシュティール欧州議会議員(HDZ所属)が、欧州議会機関誌が実施する最優秀欧州議会議員表彰(EUにおけるオスカー賞)における開発協力分野の最優秀議員に選出。クロアチアの欧州議会議員で初めての受賞となった。
- 19-20日、ミラノビッチ首相は、欧州理事会出席のためブリュッセルを訪問。
- 24日、コトロマノビッチ国防相は、当国訪問中のデモツリ・コソボ防衛軍相と会談。クロアチアは、コソボのEU・NATO統合プロセスを支援する旨言及。同防衛軍相はグラバル＝キタロビッチ大統領とも会談。
- 28日、ミラノビッチ首相、ファイマン・オーストリア首相、ツェラル・スロベニア首相は、第4回目となる3か国首相会合をオーストリアのシュラトミングで開催。エネルギー分野における地域協力について協議。
- 30日、ザグレブにおいて「クロアチア・中国ビジネスフォーラム」開催。劉洋・中国国際貿易促進委員会(CCPIT)北京市分会副主任および中国11企業の代表らが参加。
- 30日、バティスティッチ＝コス外務・欧州問題省次官補率いるクロアチア代表団がウクライナを訪問し、キスリツヤ・ウクライナ外務省次官らとクロアチアの紛争後の平和的統合の経験について意見交換。ウクライナ側は、クロアチアの紛争中および紛争後のUNTAES(国連東スラボニア・バラニャおよび西スリエム暫定統治機構)による東スラボニア地方の平和的な統合や難民帰還支援の経験や知識等に関心を示した。
- 30-4月1日、レコ議会議長は、ブルガリアを訪問し、プレヴネリエフ・ブルガリア大統領、ボリソフ同首相、ツァチェヴァ同国民議会議長と意見交換。欧州のエネルギー効率、エネルギー政策、シェンゲン地域への参加等につき協議。

経済

- 2日、クロアチア中央銀行は2014年末のクロアチアにおける不良債権額を発表した。前回(2014年9月末)公表値17.24%より微減しているものの、債権全体額(2799億クーナ)の16.95%にあたる474億クーナ分の債権が、部分的ないし完全に回収不可能であるとした。
- 4日、クロアチア財務省は、15億ユーロ分の10年物ベンチマーク債をミッドスワップに260ベースポイント(bp)上乗せした水準(3.3%)で発行。右はハンガリー国債より100bp、ルーマニア国債より140bp高いものの、4%超となった前年5月発行時と比較すれば低水準となった。
- 12日、クロアチア政府は、4月1日より1年間、ガス価格を現行より7~10%引き下げる旨公表した。
- 13日、ミラノビッチ首相は高速道路の株式を国内の年金基金に売却する方針を発表。赤字経営の2高速道路公社の経営権をコンセッション方式で外国資本へ売却し、合理化(従業員解雇を含む)を図ろうとしたが、労働組合や国民からの強い反発にあったもの。
- 29日、イストリア県内ラビン市周辺でプロミンC火力発電所建設の是非を巡る住民投票が実施され、投票数は有権者(20,544票)の36.7%に留まった。右は有効投票率である50%を下回ったため、当該住民投票は無効となった。なお、投票したうちの94.5%が同発電所建設に反対であった。

主要経済指標

(2015年月次データ, 対前年同期比(除く失業率), 政府統計局発表)

輸出総額 (1月)	輸入総額 (1月)	貿易赤字 (1月)	工業生産高 (2月)	インフレ率 (2月)	失業率(登録制) (2月)
-3.2% (56.6億クーナ, 7.4億ユーロ)	-11.2% (86.5億クーナ, 11.3億ユーロ)	-23.2% (29.9億クーナ, 3.9億ユーロ)	+1.9% (1月:-5.0%)	-0.4% (1月:-0.9%)	20.3% (1月:20.3%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。